

大きく向上 学びのエリア

大谷口小だより

〇おらかで 〇やる気をもって 〇くふうして 〇ちからを合わせる大谷口の子

学校評価号
令和2年2月10日
板橋区立大谷口小学校

今年度も残すところ2か月余りとなりました。保護者の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただき感謝いたしております。

さて、昨年12月にお願いしました学校評価の集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。保護者の皆様には、ご多用の中、多くの方にアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

このアンケートは大谷口小学校の教育活動について保護者の皆様からご意見をいただき、家庭と学校とで連携を図りながらよりよい教育を行っていくために実施しているものです。親と教師が同じ目標に立って子供を育てていくことにより、子供たちにとって安定した環境を作っていくことが大切だと考えます。子供たちが元気に楽しく充実した学校生活を送ることができますよう、教職員一同、更なる教育活動の充実に取り組んでまいります

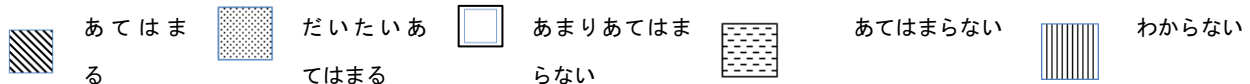
参加人数、提出数、提出率

	児童	保護者	教職員
人数	300名	300名	22名
提出数	296名	293名	22名
提出率	98%	98%	100%

回答は、①あてはまる ②だいたいあてはまる ③あまりあてはまらない ④あてはまらない ⑤わからない から選択します。また、表の右側の数値は

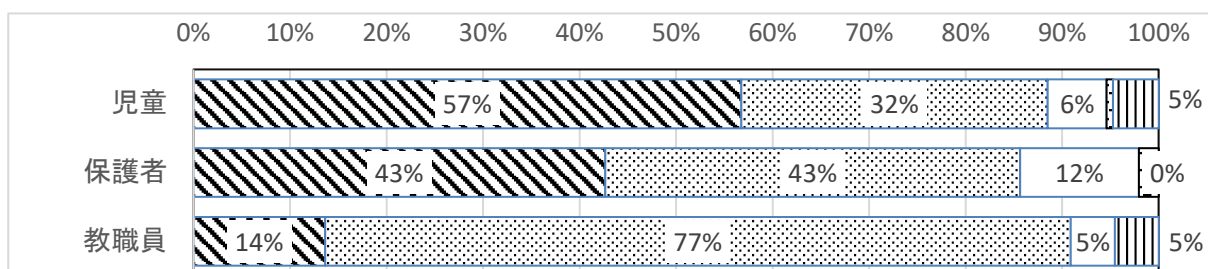
$(①人数 \times 4 + ②の人数 \times 3 + ③の人数 \times 2 + ④の人数) \div (回答者 - ⑤の人数) = Y$ としました。

Yが3.5以上はA、3.0以上はB、2.5以上はC、2.5未満はDとしています。



(保)：保護者設問 (児) 児童設問 (教)：教職員設問 (保・教)：保護者・教職員設問

1. (児)授業がわかりやすく、たのしく勉強している。(保)子どもは学校での学習を楽しみにしている。(教)児童は学校での学習を楽しみにしている。 (児)=3.5、A (保)=3.3、B (教)=3.1、B

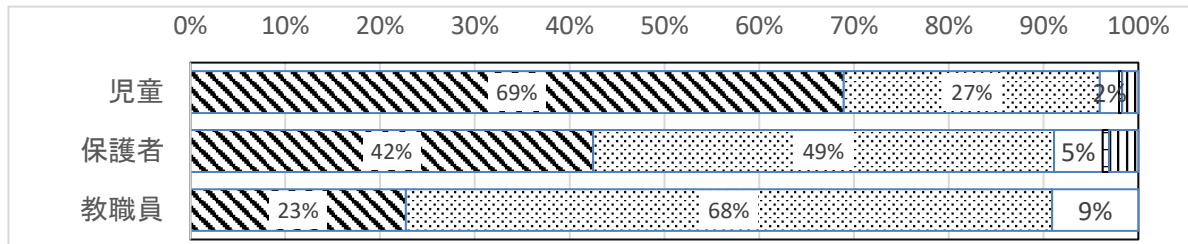


(保護者の皆様からの主なご意見)

- 毎日学校に楽しく通っています。学校であったことをいっぱい話してくれます。特に先生やお友達から褒められたり、認められたりする出来事があると、興奮しながら話してくれます。
- 年間4回、ALTの授業が行われていることは評価できる。回数を増やしてほしい。

児童、保護者、教職員共に「あてはまる」「ややあてはまる」の合計が80%を超える結果となっています。今後もこの結果を保っていただけるよう、より一層児童にとって分かりやすく、楽しみになる授業を目指して学習指導を行っていきます。また、ALTの授業は「低学年、中学年は年間4回 高学年は年間17回」と、板橋区としての年間実施回数が決まっています。今すぐには難しいですが、実施回数を増やしていただけるよう区に要望としてあげていきます。

2 (児)先生はいつもわかりやすく勉強を教えてくれる。(保)(教)学校は、基礎的・基本的な学力が向上するための取組を行っている。(児)=3.7, A (保)=3.4, B (教)=3.1, B

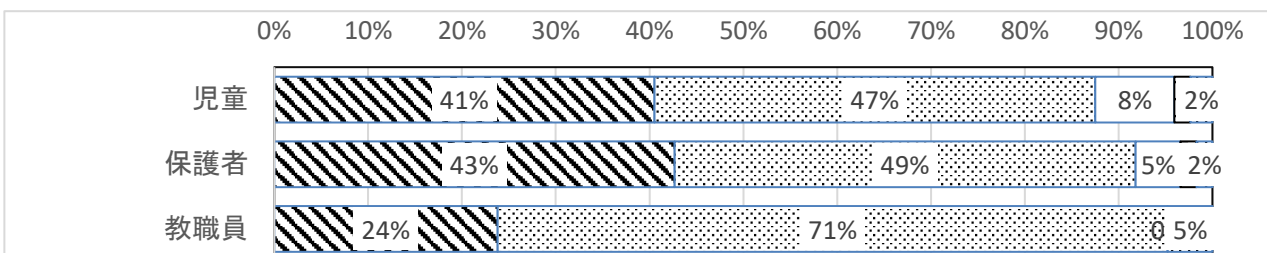


(保護者の皆様からの主なご意見)

- ① 都の学力調査で5年生が都の平均を下回っていた。学校として学力向上への取組を強化することを期待します。
- ② 1組と2組で学習の進み方が違う。担任のあたりはずれを感じてしまう。それを軽減するためにもある程度進め方を合わせてほしい。(持ち物の知らせ方、配布物、製作物も含む)
- ③ 宿題の量が多すぎます。なくても良いと思っています。放課後、休日、親が常に宿題のことを口にするので、親子共々、つかれきっています。

児童、保護者、教職員共に「あてはまる」「ややあてはまる」が90%を超える良い結果となっています。今後より分かりやすい授業を行い、学力を向上させていくために、学校全体で情報を共有し、基礎的・基本的な学力の定着を図ります。学力を伸ばしていくためには、低学年からの積み重ねが重要となります。そこで、つまづきやすいポイントや間違えやすい問題についても学年を超えた情報共有を図り、それぞれの学年で確実に学力を付けていけるよう努めます。またフォローアップ学習の時間を使い、様々な問題に取り組むことを通して、学力向上を目指します。5年生の学力もフォローアップ学習で補ってきており、4月当初に比べ、大幅に向上してきています。今後も、学年に応じた問題へ取り組ませることで、学力の更なる向上に努めます。宿題に関しては年度初めに配布している「家庭学習の手引き」に基づいて進めています。しかし、これはあくまで目安であり、個々の状況はそれぞれ違うと考えます。もし、とても難しい状況がありましたら、個別に対応させていただきますので、担任までご連絡ください。

3 (児)授業中によく友達と話し合ったり、協力したりしている。(保)(教)子どもは友達と意見交流したり、協力したりしている。(児)=3.3, B (保)=3.4, B (教)=3.1, B

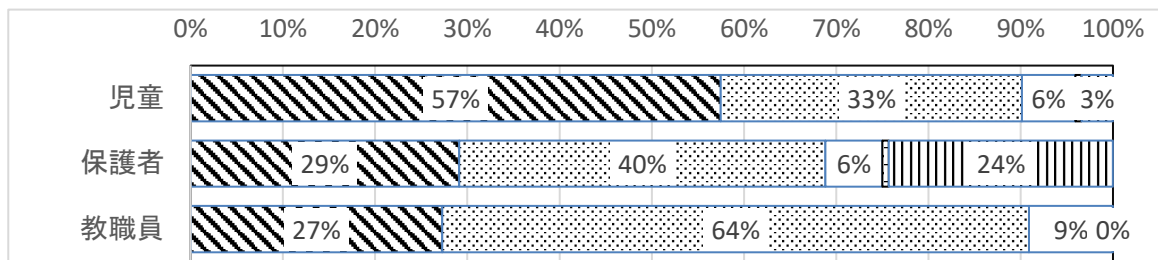


(保護者の皆様からの主なご意見)

- ① 先生が一人一人の個性をしっかりと見て、理解してくれている。

児童、保護者、教職員共に80%を超えた良い結果となっています。本校では昨年度まで「伝え合う」ことを目標として校内研究を進めてきました。そのため、互いに伝え合うことには慣れてきている面もあります。今後も学習の中でお互いに「伝え合う」活動を多く取り入れ、意見交流を図っていきます。友達と関わり合う活動を今後も大切に、学習を進めていきます。

4. (児)先生は電子黒板やタブレットパソコンを使って説明してくれる。(保)(教)学校はICT機器を取り入れた教育を行っている。(児)=3.5、A (保)=3.3、B (教)=3.2、B

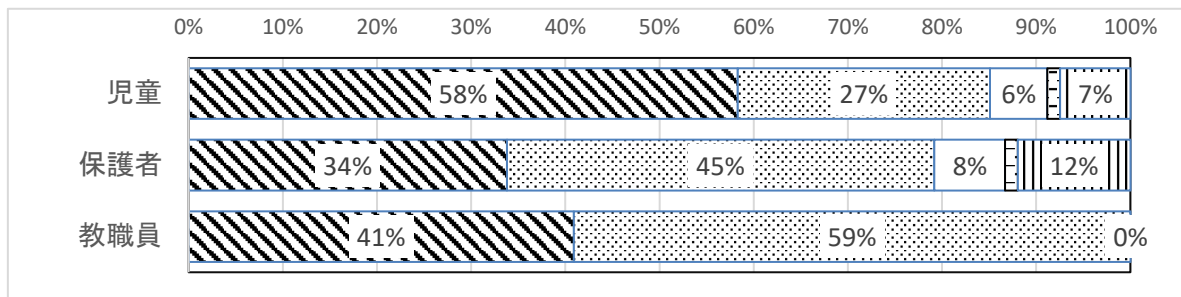


(保護者の皆様からの主なご意見)

- ① 英語、プログラミング教育がどの方向で進められるのか、気になります。
- ② ICTを利用した場面を公開してほしい。

本校では、電子黒板、タブレットパソコン、書画カメラ、デジタルカメラの全てをICT機器として扱っています。それらのICT機器を用いた学習を進めていくためには、教職員がよりICT機器についての知識を深めていく必要があります。そこで、教職員の研修の機会を多く取り入れ、ICT機器をより効果的に活用するための知識を高めていきます。また、年間8回の学校公開の中で、少なくとも1回は必ずICT機器を取り入れた授業公開を行います。プログラミング教育については、低学年のうちからゲーム感覚で楽しく学べるようにしていきます。

5. (児)クラスでは、いじめや差別がないように気をつけている。(保)(教)学校は、いじめ、差別のない学校、学級づくりを行っている。(児)=3.5、A (保)=3.3、B (教)=3.4、B

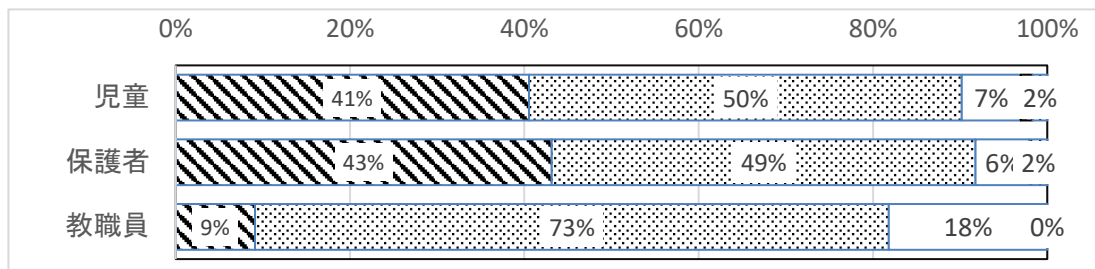


(保護者の皆様からの主なご意見)

- ① いじめや差別について正しい倫理観を児童らが確実に醸成できるように、道徳や生活、学活で取り組んでもらいたい。
- ② いじめや子供同士のもめごとについて先生が時間をかけて解決してくれたので安心して登校させることができました。
- ③ 染髪している子を見かけました。家庭の問題ですが数年前の大谷口小は評判が悪く、イメージが下がらなければいいと思います。

おおよそ80%が「あてはまる」「ややあてはまる」という良い評価となっています。いじめや差別の芽は、些細なものではあっても存在しています。それを担任や教職員が察知し、素早く確実な対応や指導ができるかが大切です。そのために、週に2回の会議を行って情報共有できていることが、結果に表れているかもしれません。今後も継続していじめや差別のない学校を目指していきます。

6. (児) わたしは、学校や学級のきまりを守っている。(保)(教) 子どもは、学校や学級のきまりを守っている。
 (児)=3.3, B (保)=3.4, B (教)=2.9, C

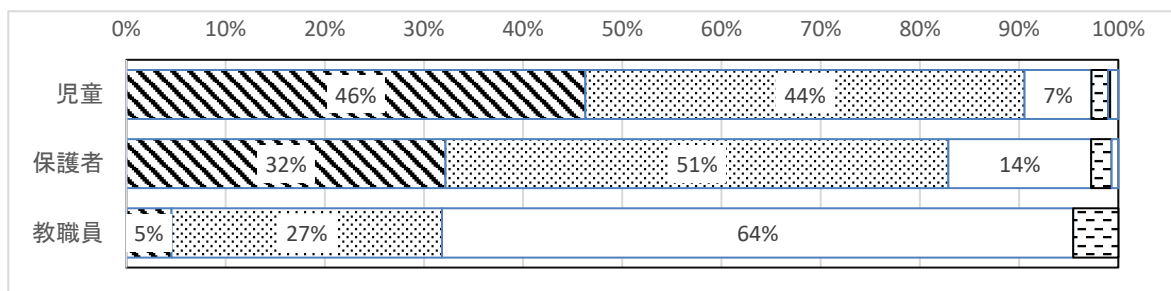


(保護者の皆様からの主なご意見)

① 生活面の困り感にも丁寧に対応していただいていると感じています。

80～90%が「あてはまる」「ややあてはまる」という良い評価でした。一方で学年が上がるにつれて、校帽をかぶらずに登下校する児童が増える傾向が見られます。本校の特色である縦割り活動を通じた上下のつながりを生かし、当たり前前のルールやマナーをしっかりと守ろうとする意識を、それぞれの学年の実態に合わせてこれからも指導していきます。

7. (児) 私は、いつもあいさつができています。(保)(教) 子どもはあいさつすることが身に付いている。
 (児)=3.4, B (保)=3.1, B (教)=2.3, D



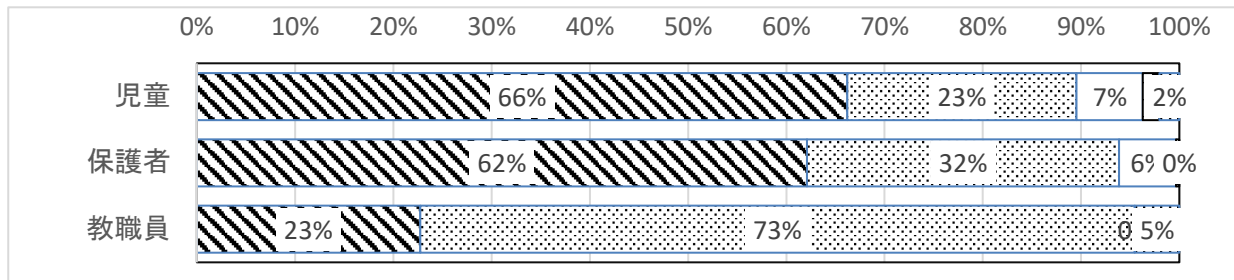
(保護者の皆様からの主なご意見)

- ① 高学年の挨拶がしっかりしていて、低学年も見習えるともっと素敵だなと思います。
- ② 子どもたちに挨拶をしても返ってこないことがある。子どもたちから挨拶ができるとすてきなと思いました。

「あてはまる」「ややあてはまる」を選んだのは、児童・保護者が80～90%、教職員が30%と、結果に大きく差が開きました。すすんで挨拶ができる児童、教職員から挨拶をすればできる児童、挨拶が返ってこない児童など、教職員は多くの児童とすれ違っているため、このような結果となっていると考えられます。今年度は期間を決めて縦割り班を活用した挨拶運動を行っています。よい伝統を下の学年に伝えていけるよう、継続して指導していきます。

8. (児)わたしは、学校に楽しく通っている。(保)(教)子どもは楽しく学校に通っている。

(児)=3.2、B (保)=3.3、B (教)=3.1、B



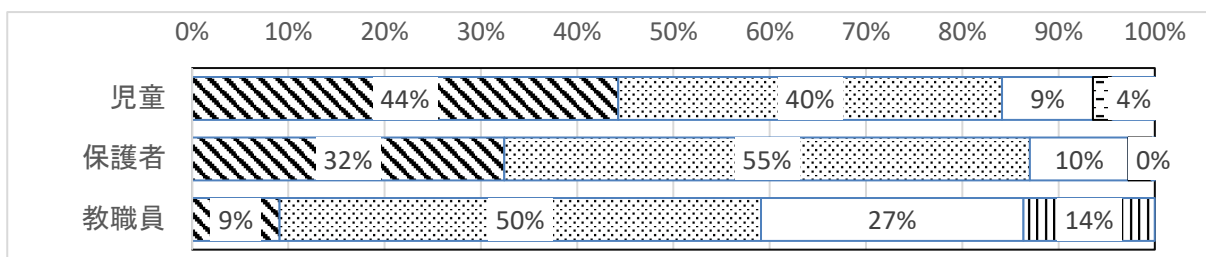
(保護者の皆様からの主なご意見)

- ① もう少し遠足らしい遠足があるとよい。音楽会、学芸会など年度ごとに変わると楽しみが増えるかも。
- ② 新しい風を取り入れて子どもたちに様々な経験をさせようとアイデアを出してくれる姿勢はとても頼もしい。
- ③ 縦割り班活動が充実している。子どもたちの心が育っている。

児童、保護者、教職員共に「あてはまる」「ややあてはまる」が85%を超える良い結果になりました。今後もこの結果を維持していくために、より分かりやすく楽しい授業を目指していきます。より一層一人一人の児童にしっかりと対応できるように、習熟度別学習を取り入れたり、ステップアップ教室「くずのは」の先生や巡回指導講師、スクールカウンセラーとも十分な連携を図ったりしていきます。また、行事を充実させることにより、児童の前向きな気持ちを育てていきます。兄弟姉妹学年との関わり、縦割り班活動以外にも異学年交流ができるような環境を整え、学校全体で楽しくなるような活動を取り入れていきます。

9. (児)(保)(教)児童は、健康や食事に気をつけている。

(児)=3.3、B (保)=3.2、B (教)=2.8、C

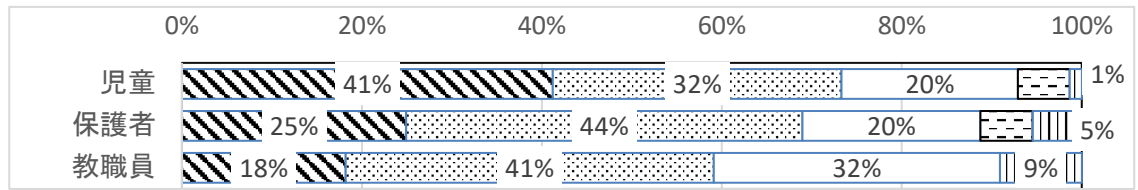


(保護者の皆様からの主なご意見)

- ① 生活科で栄養士が食材の話をしてくれ、児童が下ごしらえをするのはとてもいい。

「あてはまる」「ややあてはまる」を選んだのは、児童と保護者が80%、教職員が60%と、20%の差がありました。給食の様子や出欠席状況だけでなく、休み時間に外で元気に遊んでいるかどうかについても教職員は「健康」に含めて回答したためではないか、と考えています。11月から「体力アップカード」の取り組みが始まり、外に出る児童の数は増えています。食事、運動、睡眠のバランスを考えて生活が送れるよう、今後も指導していきます。

10. (児) わたしは、やすみ時間に外で元気にあそんでいる。(保)(教)子どもは授業や休み時間の運動により、体力が向上している。(児)=3.1, B (保)=2.9, C (教)=2.9, C



(保護者の皆様からの主なご意見)

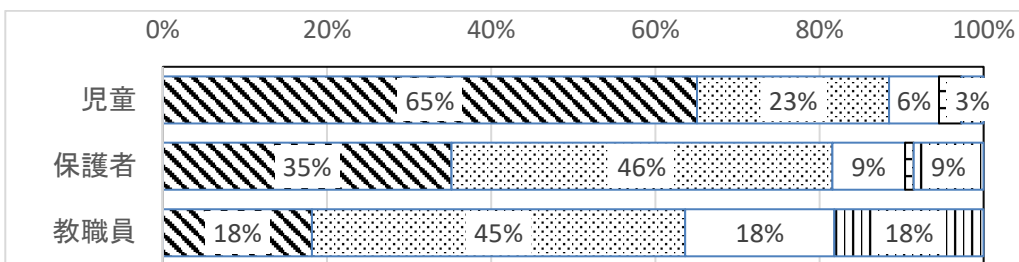
- ① 音楽に力を入れているが体育はとても少ない感じがする。
- ② 休み時間強制的に外に出してほしい。
- ③ 学校全体の体力テストの結果が毎回低く残念。
- ④ 朝や放課後に学校で遊んだり体を動かせたりする時間があるといいなと思います。
- ⑤ クラス対抗の運動やマラソン大会などがあるといい。
- ⑥ 水泳の授業があまりできず残念だった。

体力テストの合計点は、全ての学年で昨年度よりも高くなっています。さらに、1年生女子、2年生女子、4年生男子、5年生男子、6年生女子は、全国平均よりも高くなっています。(昨年度全国平均を超えた学年はありませんでした。)つまり、体力は向上していると考えます。

しかし、本校では、休み時間に外遊びをする子としない子の二極化が進んでいるという現状があります。この状況を改善するために、11月に「体力アップカード」を実施致し、外で遊ぶ児童の数が大幅に増加しました。これは、児童が自分で計画を立てて運動することで、運動への意欲を高めることができたからであると考えます。

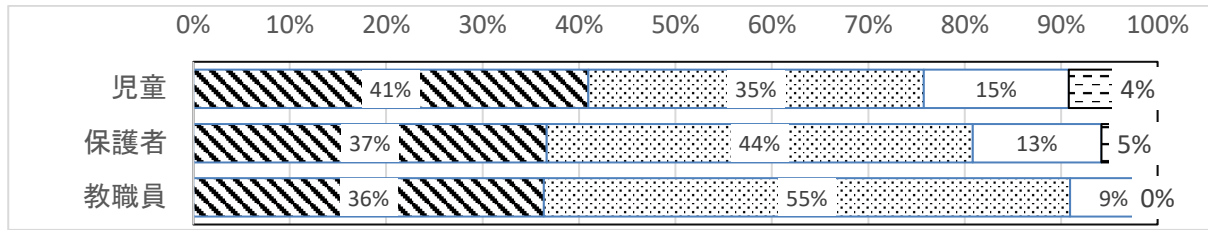
来年度は、年間3回「体力アップカード」の期間を設定し、令和3年度の体力テストで、全ての学年が全国平均を超えることができるよう計画的に取り組みます。そして、その様子を保護者の皆様にもお伝えしていきます。

11. (児)いえの人は、学校公開にいつも見に来てくれる。(保)(教)学校は、保護者や地域・専門家が学習に参加する機会を設けている。(児)=3.6, A (保)=3.3, B (教)=3.0, B



本校では、保護者の皆様や地域・専門家の方をゲストティーチャーとしてお招きした学習を多く取り入れています。3年生の学習では、地域の皆様との関わりを十分に理解するため、地域商店街の皆様や成増の農家の皆様にもご協力いただいています。また、1・2年生では、年1回の「伝承遊びの会」「ふれあい給食の会」で、児童の祖父母の皆様のほか地域の高齢者団体の皆様にもご協力いただいています。4年生では、社会科で上水についての理解を深めるため、水道局の方をお招きした活動を行っています。5・6年生では、「THE日本」と題した総合的な学習の時間の学習において、この地域にお住まいの剣道や折り紙の専門の方にいらしていただき学習を進めました。この他にも、オリンピック・パラリンピック教育の一環として、スポーツ専門の方や弦楽四重奏団の方にもいらしていただき本物の演技を間近に見せていただきました。今後も保護者の皆様や地域の皆様、専門家の方にご協力いただいで学習を進めていきます。今後とも、ご協力の程よろしく申し上げます。

12. (児)家の大人と学校のことをよく話している。(保)(教)学校は学校だよりやホームページなどできめ細かく情報提供をしている。

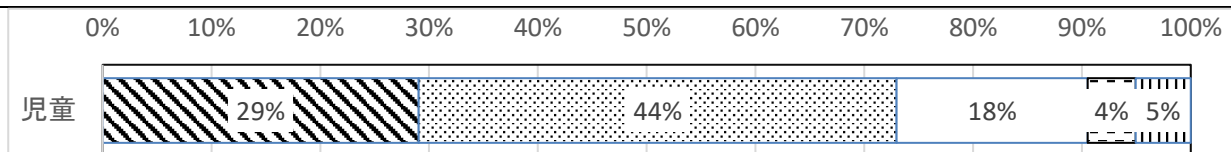


(保護者の皆様からの主なご意見)

- ① ホームページは写真と説明がシンプルで分かりやすいです。学校行事やお便りやメールもタイムリーに届くので、大変助かります。
- ② ホームページの更新、急なお知らせメール、プリントでたいへん助かっている。
- ③ 学級だよりはクラスによって配布頻度が異なるために気になる。初めての学校なので、もう少し詳しく案内して欲しい。
- ④ 学校便りは良いのだが、学年、学級だよりの情報提供が少なく、よくわからないことが多い。音楽会などの下校時間がどこにも書いていなくて分からなかった。図工などで使う材料がいつもよくわからない。そしてあまりも持ち帰らせるのもどうなのかと思う。具体的に何をやるので、こういったものを何個くらい必要と教えてほしい。

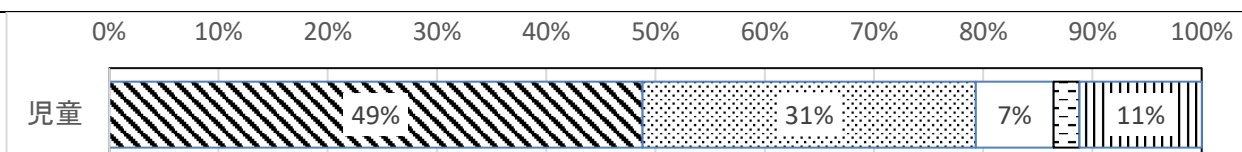
ホームページのトップページに「児童の様子」を設定し、保護者の皆様が日々の児童の様子を閲覧しやすくしました。メール配信システムでは、昨年度のような配信トラブルがなく、円滑にメール配信ができています。毎年、メール配信システムの登録を保護者の皆様へ依頼しています。皆様が迅速に登録をしてくださるおかげで、本システムを円滑に運用できています。ご意見④の持ち物のお知らせについては、学年便り・学級便りで、具体的にお伝えできるよう改善を図ります。

13. (児)自分にはよいところがあると思いますか。(児) = 3.0、B



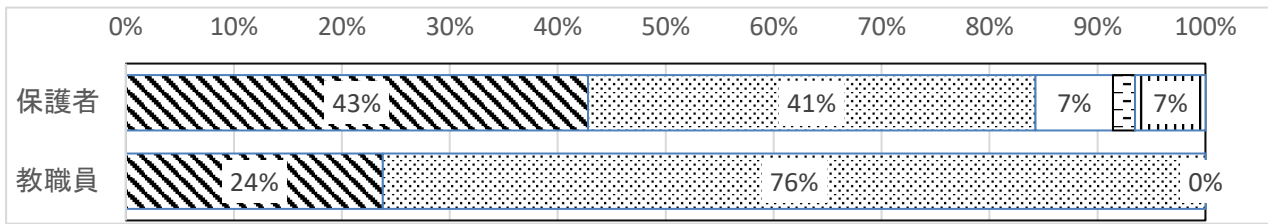
児童の73%が肯定的に回答していますが、約30%の児童がそうは思っていないことが分かりました。そこで、「児童一人一人が自分のよいところを見つけること」を目標として、全教職員で取り組んでいきます。そのために、学習時間の中で互いに認め合える機会を多く作ります。話し合い活動やグループ活動を大切に、児童が活発に意見を交換し、分かち合うことのできる学習を進めます。また、一つの学習が「できた！」時の喜びを次の自信へとつなげていけるよう、分かりやすい授業を展開していきます。個の状況をより深く理解するために巡回指導講師やスクールカウンセラー、心理士とも連携を図って支援や対応を行います。また、委員会活動やクラブ活動では一人一役として責任をもって活動することを通して達成感を大いに味わえるようにしていきます。

14. (児)先生は、あなたのよいところをみとめてくれていると思いますか。(児) = 3.4、B



児童の80%が肯定的な意見ですが、教師が児童のよいところを認め、励まして指導することは児童の自己肯定感を高め、自分の長所をさらに伸ばすことにつながっていきます。今後はさらに児童の実態把握に努め、児童一人一人のよいところを伸ばす指導を徹底していきます。また、担任だけでなく、専科教員や異学年の教員が関わり、学校全体で児童一人ひとりを指導できるように、多くの目で指導にあたっていくことが重要であると考えています。今後はより教職員間で児童の情報を共有し、多くの教職員で一人一人の児童の長所を認め、励ます指導を継続していきます。

15 (保) 学校は問い合わせや相談に迅速に対応している。(教) 学校は問い合わせや相談に迅速に対応している。(保) =3.3, B (教) =3.2, B

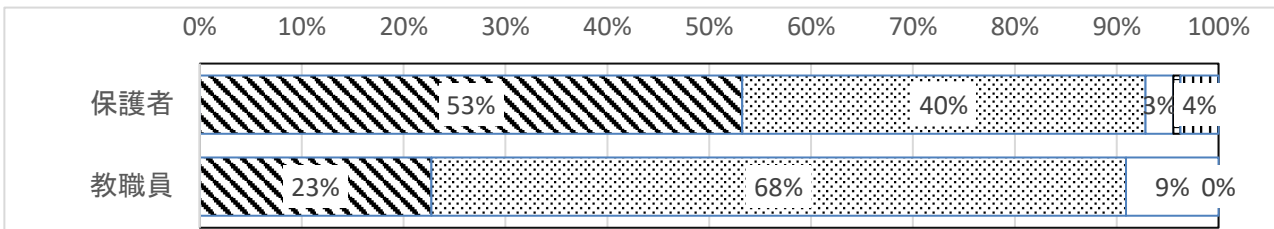


(保護者の皆様からの主なご意見)

① 副校長や担任の対応の仕方から危機意識を持っている姿勢が感じられ、学校に対する信頼感につながっている。

トラブルが発生した際、学校側で事実確認を迅速かつ正確に行うためには、保護者の皆様の冷静で客観的な対応及び情報提供が必要であると考えています。児童の行方がわからないケースでは、下校した後、玄関にランドセルを置いて、その後の行き先を伝えていない場合が多いです。お子様のよく遊び行く場所、よくお世話になる友達のお家などを把握していただくとともに、「いつ」「どこへ」「だれと」「何時まで」を必ず伝えるよう今一度話し合ってください。今後も保護者の皆様の協力を得ながら、が学校として迅速に対応していきます。

16 (保) (教) 教室は安全な状態に整備されている。(保) =3.5, A (教) =3.1, B



(保護者の皆様からの主なご意見)

- ① 体育館で授業参観、式がある際、マイクの音がファンファンして内容が分かりづらい。
- ② 放課後の子どもたちの外での様子が気になる。特に交通安全の面では保護者や地域の方が時には厳しい目で見守る必要があると思います。
- ③ 下校時刻が遅い。毎日心配である。以前担任に伝えたが、日に日に遅くなり不安である。不審者情報もあるので、5、6校時終了し、15分後を学校全体で考えてほしい。1クラスの下校時刻が遅い場合、子どもたちに時間を守ることを教えている学校でこそ、考えてほしい問題である。

93%の保護者の皆様が肯定的な回答でした。

ご意見①については、音量を適切な大きさに設定していきます。ご意見②については、登下校時に学童擁護及び地域の見守り隊、PTAの馬だしボランティアの皆様のおかげで、子どもたちは安全に過ごすことができます。現在は馬だしボランティアの人数が少ない状態です。さらに多くの方に登下校時の安全を支えていただくことで、児童はより安心して登下校ができると考えます。ご意見③については、本校の下校時刻は、授業終了15分後となっております。児童の安全確保のため、遅くならないように徹底していきます。

17 その他

(保護者の皆様からの主なご意見)

学校へ電話で問い合わせたとき、「～の件で〇〇先生お願いします」と言ったのだが、対応された方が「〇〇先生～！電話～～。なににっているのかわからないから・・・かわって～」と保留もせず電話引き継ぎされていました。教育の場でこのような対応にがっかりしました。子どものことなので、きちんと対応していただきたいです。

今後は電話の対応において、相手に失礼のないように取り組んでまいります。教育の場で、信頼を失墜することのないように、全教職員十分に留意してまいります。